

## 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 24 年 6 月 5 日現在

機関番号：34521

研究種目：基盤研究（c）

研究期間：2009 年度 ～ 2011 年度

課題番号：21520555

研究課題名（和文） 高校進学を目指す外国人生徒のための社会科対訳補助教材の開発

研究課題名（英文） Creation of teaching materials in Social Studies for children Who are non-native speakers of Japanese studying towards Japanese high school entrance examinations

研究代表者

山崎 恵（YAMASAKI MEGUMI）

姫路獨協大学・外国語学部・教授

研究者番号：10230385

研究成果の概要（和文）：高校進学を目指す外国人生徒の教科学習支援の一助となるように、中学社会科（「公民」「日本史」「世界史」「地理」）の日本語・英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語・ベトナム語の 7 言語版補助教材を開発・作成し、web 上に公開した。

研究成果の概要（英文）：In order to assist children, whose mother tongue is not Japanese and are aiming to progress into Japanese high school, we have developed and published on the web teaching materials that focus on four subject areas of Social Studies: Civic Studies, Japanese History, World History and Geography, in seven languages including Japanese, English, Chinese, Korean, Spanish, Portuguese and Vietnamese.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2009 年度	700,000	210,000	910,000
2010 年度	1,100,000	330,000	1,430,000
2011 年度	1,300,000	390,000	1,690,000
年度			
年度			
総計	3,100,000	930,000	4,030,000

研究分野：日本語教育

科研費の分科・細目：言語学・日本語教育

キーワード：外国人生徒、対訳補助教材開発、中学社会科公民、中学社会科日本史、中学社会科世界史、中学社会科地理、英・中・韓・西・葡・越語訳

## 1. 研究開始当初の背景

近年、日本語を母語としない児童・生徒が日本の学校に急増し、日本語指導が必要な外国人児童・生徒に対する教育支援が重要な課題とされ、各地で様々な取組が行われているが、日本での定住期間が長くなるにつれ、子ども達も成長し、進路・進学問題などが新たな課題となってきた。

筆者の勤務地である姫路市においては、以前インドシナ難民のための姫路定住促進センターが在ったこともあり、現在もベトナム人定住者が多く、その子ども達が市内の小・中学校に在籍している。兵庫県内の日本語の理解が不十分な児童・生徒数を母語別に見ると、ベトナム人児童・生徒数が多いことが分かった。全日制高校進学率も低いという

報告もあり、2006年度姫路市政策研究費助成を受け、姫路獨協大学日本語教材作成プロジェクトチームを結成し、中学社会科対訳補助教材の開発・作成を試みた。この教材は、高校受験を視野に入れ、過去の兵庫県公立高校入試問題の出題傾向から重要項目・語句を選定したもので、『公民副教材』『歴史副教材』『外国人生徒のための地理(日本編)』それぞれが日本語版・英語版・ベトナム語版の3冊からなり、全9冊1セットとなっている。作成した教材は、姫路市内あるいは兵庫県内の外国人生徒が在籍する中学校や地域の日本語・教科学習支援ボランティア団体、問い合わせがあった他府県の学校関係等へ配布した。そうした中で、ポルトガル語版や中国語版などの対訳版はないかという問い合わせや、web上に公開してほしいとの現場からの強い要望があった。そこで、本研究では、新たに「歴史」と「地理」の世界編を開発・作成することとし、要望の多い中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語の翻訳版を追加作成することとした。完成した教材はweb上に公開し、アクセスさえすれば必要とされるところに供給できるようにしたいと考えた。

## 2. 研究の目的

高校進学を目指す外国人生徒のための学習支援研究の一環として、社会科対訳補助教材の開発・作成を行うことである。

## 3. 研究の方法

- (1)新たに、社会科補助教材作成プロジェクトチームを結成し、分担(「公民班」「歴史班」「地理班」)を決め、班別に前回(2006年度)作成した中学社会科対訳補助教材『公民副教材』『歴史副教材』『外国人生徒のための地理(日本編)』の日本語版をもとに、誤りの訂正や不備な点の修正、内容補充や高校入試予想問題など

の追加をし、改訂作業を行った。

- (2)日本語版の改訂が出来た分野から順次、研究分担者を通じて翻訳者の選定・依頼を行い、英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語の翻訳に取りかかった。
- (3)「世界史」「地理」の日本語版を作成し、同時に学内でweb上にupするために必要な手続き・環境整備等を検討した。

## 4. 研究成果

作成した教材は、PDFファイル化し、アクセスさえすれば、必要な分野・言語をダウンロードして活用できるよう、学内でweb上にupするための作業手順を検討し、環境整備等をおこなった。

中学社会科の4分野(公民、日本史、世界史、地理)には専門語が多く、外国人生徒にとって理解するのが難しい教科と言われている。しかも対日年数が長くなり、児童・生徒が成長するに伴い、初等教育段階より中等教育段階における日本語指導が必要な外国人生徒が増加傾向にある。日本語指導が必要な児童・生徒を母語別に見た場合、全体の約9割をカバーする6言語(ポルトガル語・中国語・スペイン語・ベトナム語・韓国語・英語)で訳された社会科補助教材開発の意義は大きい。開発した教材は漢字にはふりがなをつけ、説明はできるだけやさしい日本語で、イラストや写真を多用して、理解の促進がはかれるよう工夫した。

また、高校進学を目指す外国人生徒の一助となるよう、高校入試過去問題や予想問題などを多く取り入れているのも、本教材の特徴である。

## 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計1件)

山崎恵 「外国人生徒のための中学社会科補助教材開発の現状」『姫路獨協大学外国語学部紀要』第24号、2011年、pp.109-123

〔その他〕

ホームページ等

[http://www.himeji-du.ac.jp/faculty/dp\\_la ng/shakaika-aid.html](http://www.himeji-du.ac.jp/faculty/dp_la ng/shakaika-aid.html)

## 6. 研究組織

(1)研究代表者

山崎 恵 (YAMASAKI MEGUMI)  
姫路獨協大学・外国語学部・教授  
研究者番号：10230385

(2)研究分担者

中嶋 佐恵子 (NAKAJIMA SAEKO)  
姫路獨協大学・外国語学部・准教授  
研究者番号：00299124

西村 秀夫 (NISHIMURA HIDEO)  
三重大学・教育学部・教授  
研究者番号：00164591

山中 忍 (YAMANAKA SHINOBU)  
姫路獨協大学・外国語学部・教授  
研究者番号：30412076

田村 祐之 (TAMURA HIROYUKI)  
姫路獨協大学・播磨総合研究所・准教授  
研究者番号：70319888

中村 麻結 (NAKAMURA MAYU)  
姫路獨協大学・外国語学部・講師  
研究者番号：20412075